

プレゼン：3月10日 A会場 15:00～ 人と設備を支えるものづくり現場

## 対象業務の現状と取組み

人が中心の「人」と「設備」が共存するIoTを活用した日本流ものづくり革新

### ■現状の課題

- ・人による加工・組み付け作業は、多くの要素の複雑な相関関係で成り立っており、個人の技に依存する部分が多く、熟練技術を形式値化することは非常に困難である。
- ・技術の伝承が難しく、人材育成に長い時間を要し、競争力維持の大きな課題である。

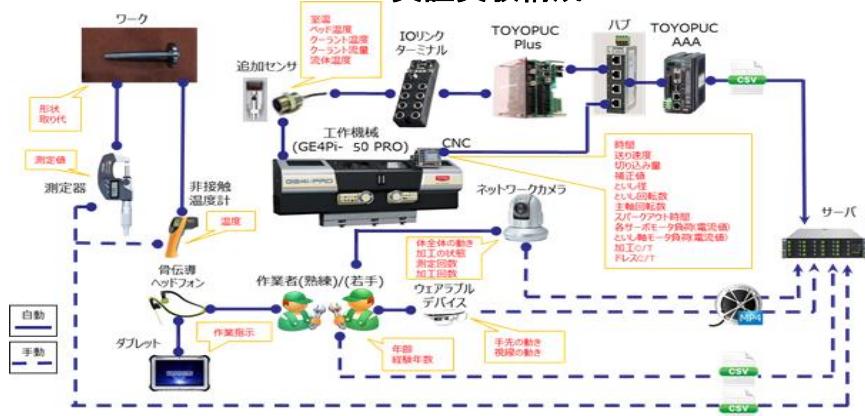
### ■取組み

- ・熟練者と非熟練者(若手)の作業データや環境データ等をセンサで計測し、データの相関分析から熟練の技をデータ化し、作業最適データを生成するロジックを構築する。
- ・作業最適データを活用して若手に作業アシストを行うことで、若手(人)が成長し、蓄積されたデータが増えることで設備加工プログラムへ反映され、設備も成長する。

## 実証実験・業務シナリオ (TO-BE)・成果

個人の技に大きく依存する高精度研作加工工程において、稼働状況、環境情報、および作業者の作業内容をデータ化し、作業者間の差異と生産性及び品質との相関を分析し、熟練者(匠)の技能をいかに早期に伝承できるかを検証する。

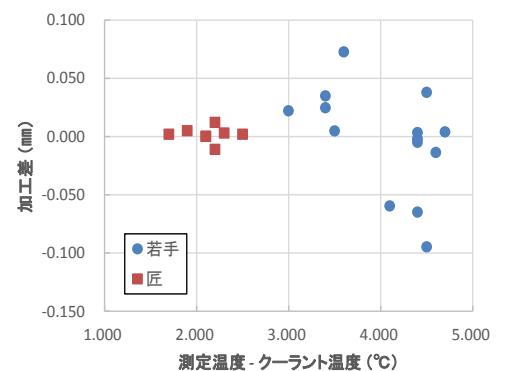
実証実験構成



匠の作業



加工精度(品質)と環境データ相関



ファシリテータ : 福田 徹  
 エディタ : 若菜伸一  
 メンバ : 大倉 守彦 都築 俊行  
 松本 英俊 八尾 隆之  
 一力 知一 大岩 義孝  
 山田 啓太 山中 誠二

実証実験風景

